

令和2年度 第1回 宇治市健康づくり・食育推進協議会 会議録

□日 時 令和2年7月13日（月）14時00分～15時30分

□会 場 市役所8階 大会議室

□参加者 協議会委員： 小泉委員、福田委員、石原委員、中村委員、高木委員、
佐久間委員、北村委員、西村委員、皆川委員、村下委員、
渡邊委員、田中委員、朝倉委員、切明委員、日野委員、島津委員、
小森委員、伊賀委員、松田委員、福井委員、星川委員
その他出席： 京都府山城北保健所 保健課 健康・母子保健係 金井係長
事 務 局： 宇治市健康生きがい課

□欠席者 協議会委員： 辻委員、堀委員

- 次第
1. 開会
 2. 委員自己紹介
 3. 役員（会長・副会長）選出
 4. 報告事項
 - （1）健康づくり及び食育の取り組み報告と今後の推進について
 - （2）きょうと食いく先生等派遣事業について 他
 - （3）これからの高齢者の暮らしに関する調査より
～オーラルフレイルの危険性、宇治市民65歳以上の危険度は～
 5. 協議事項
 - （1）中間評価に係るアンケート項目について
 6. その他
 7. 閉会

【会議内容】

1. 開会

2. 委員自己紹介

3. 役員（会長・副会長）選出

■推薦により、会長小泉委員、副会長福田委員が選出される。

4. 報告事項

(1) 健康づくり及び食育の取り組み報告と今後の推進について

報告者：事務局

- 資料3「健康づくり・食育の取組報告と今後の推進について」に基づき、令和元年度及び令和2年度の健康づくり・食育推進事業の取り組みについて報告
- 宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA について報告

報告者：日野委員

- 令和元年度より健康生きがい課及び加盟団体の皆様と宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA の活動を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響で活動自体が難しくなっている状況だが、健康づくりや食育への関心が高まっている。こういった時こそ、健康生きがい課や加盟団体の皆様、さらに、本日お集まりいただいた皆様のお力をお借りして、さらにU-CHA の活動をより有意義なものにしていきたいので、ご協力お願いしたい。

(2) きょうと食いく先生等派遣事業について 他

報告者：京都府山城広域振興局 小森委員

- 当日配布資料1-1「令和2年度京都府食育推進行動計画」～1-3「きょうと食いく先生等派遣事業_区分一覧」に基づき報告。
- 京都府山城広域振興局では京都府食育推進計画を策定している。令和2年度の取り組み一覧については資料参照。
- 山城北保健所においては、管内事業所と連携した生活習慣病予防を目的とした「働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発」を行っている。また、各種健康づくりイベントでの食育啓発活動や山城産の農林産物を提供する飲食店の登録を行っている。山城マルシェは毎年開催しており、今年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施していきたいと考えている。
- きょうと食育先生派遣事業については、農業体験、加工・調理体験など色々なメニューがあるので、活用いただきたい。
- 食育シンポジウムについては、今年度はライブ配信で実施予定である。事前申込み不要でインターネット環境があれば、どなたでも自宅にて視聴可能である。皆様にも是非ご視聴いただきたい。

(3) これからの高齢者の暮らしに関する調査より

～オーラルフレイルの危険性、宇治市民65歳以上の危険度は～

報告者：宇治久世歯科医師会 中村委員

- 当日配布資料2「これからの高齢者の暮らしに関する調査より」に基づき報告。

- 今年の2月に宇治市が実施したアンケート調査「これからの高齢者に関する調査」の中にオーラルフレイルに関する項目を入れており、その調査結果を報告したい。
- オーラルフレイルのスクリーニング問診表の質問項目8項目を、宇治市のアンケート「これからの高齢者の暮らしに関する調査」の項目に入れた。4点以上がオーラルフレイルの危険性が高いと判定される。
- オーラルフレイルである人は、ない人と比較して、身体的フレイル、サルコペニア、要介護認定、総死亡のリスクが高い。口のささいな衰えは、近い将来、全身が衰えるサインである。
- 宇治市の第1号被保険者のうち4割の人がオーラルフレイルの危険性が高いという結果だった。危険性がある人を含めると、約56%の人に危険性がある、または高いという結果だった。また、宇治市の要支援認定者、総合事業対象者のうち、危険性の高い人は63.6%、危険性のある人を含めると76%であり、第1号被保険者と比較し、危険性がある人及び危険性の高い人が明らかに多い。また、第1号被保険者と要支援認定者、総合事業対象者をあわせた65歳以上の宇治市民の半数の人がオーラルフレイルの危険性が高いという結果となった。
- サンスターの調査結果は、65歳以上150名の回答結果をまとめたものであり、宇治市の第1号被保険者の結果と類似した結果だった。インターネット調査であるため、健康情報に関心がある健康リスクが低い人が回答したと考えられる。
- オーラルフレイル概念図2019年度版の「第2レベル」の口のささいなトラブルにあたる人は、宇治市で実施している介護予防事業によって元に戻すことができる。そして、健康づくりというのは、「第1レベル」のポピュレーションアプローチであり、ヘルス・リテラシーを高めることになる。
- 身体がフレイルになるのは最後であり、社会とのつながりがなくなることが、フレイルの入り口となる。そのため、介護保険で地域包括支援センターというものがあるが、地域での取り組みが一番重要となってくる。特に高齢者は、新型コロナウイルス感染症の影響で閉じこもりとなり、社会とのつながりがなくなることが大きな問題となる。

報告者：宇治商工会議所（宇治ロータリークラブ） 西村委員

- 宇治市ロータリークラブの取り組みについてご紹介したい。ロータリークラブでは世界で良いことをしようということを目指している。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、宇治市立の小学校へ9500冊、教職員へ500冊の感染予防小冊子を寄付した。
- 人々が仲良く集まること、大勢で集まること、ワイワイすることができないことが、新型コロナウイルス感染症の厄介なところである。また、ワクチンもない、薬もない、見えない敵に対して、衛生的な生活習慣を子どもたちが身に付けてもらうことが非常に大事だと考えている。しっかりとした衛生教育を子どもたちに伝えていき、また、その子

ども達が次の世代に伝えていって欲しいという思いで行った取組みである。

5. 協議事項

(1) 中間評価に係るアンケート項目について

■事務局より、資料4「宇治市健康づくり・食育推進計画中間評価について」に基づき、アンケート及び中間評価の実施方法について説明を行った。

○協議

委員：中間評価に伴うアンケートは、計画策定時と同じ方法ということでしょうか。

事務局：基本的には同じである。前回のアンケート調査は業者委託で電算化、分析ともに実施している。今回は業者委託ではないため、全く同じ方法での実施は難しく、成人アンケートについては業務簡略化のためWEB回答（インターネット上での回答）ができるようになっている。ただし、高齢者等に配慮し、紙面での回答もできるようにしている。調査項目も基本的には同じで、前回75項目であったが、今回は新型コロナウイルス感染症関連の項目を除くと、数値目標に関する項目のみ40項目程度にしている。

委員：中間評価に伴うアンケート項目は宇治市で選択して決めた内容であるのか。

事務局：計画の中にそれぞれの数値目標があり、それがどれだけ達成されているのかを評価する項目となっている。

委員：成人用アンケートの問9は身長と体重の順で聞いているが、回答は体重、身長の間になっている。質問と回答の順をそろえた方が良い。また、身長・体重を聞くことで何を得たいのか。

事務局：若い方であれば、やせはないか、男性であればメタボリックシンドロームの傾向はないか等を見ている。

委員：身長と体重を聞くのであれば、BMIを聞いて、分からない人にはどのような方法で計算するのかを入れてはどうか。高齢者のアンケート調査（これからの高齢者の暮らしに関する調査）では、アンケートに答えることで、様々なことを知るきっかけとなり良かったという市民からの意見もあった。

委員：新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業により、例年と学習内容が異なっている。例えば、家庭科での調理実習が行えないことで緑黄色野菜など以前は知っていたことが定着していない可能性がある。また、田植えや稲刈り等の農業体験も今年は見送っている。単に数字が比較される場合、そのあたり考慮して見ていかないと正しい評価ができない。また、小中学校にアンケートの実施依頼をする際には、臨時休業の影響により授業時間数が切り詰められているため、学校で実施するのであれば、現場の負担とならない方法で依頼してもらいたい。また、性別については、男性か女性のどちらかを選択する方法となっているが、

その方法で良いのかについても検討が必要である。

委員：栄養・食生活についての問6「野菜をほぼ毎日食べていますか」の質問についてだが、お肉や魚であれば、1日1回食べているかで状況はつかめるが、野菜では摂取量が問題となってくる。「はい」、「いいえ」の回答方法であると、小学生の場合は給食を食べているため、ほぼすべての子どもの回答が「はい」となってしまう。野菜の摂取量を聞くわけにはいかないため、毎食お野菜たっぷりの食事を食べているのか、1日2食以上なのか、1食もしくはそれ以下などか等選択する方法を追加し、その上で毎日食べているのか聞いた方が現状を把握しやすい。

委員：新型コロナウイルス感染症の影響で、今までとは違った健康法での健康づくりや、食育に対して取り組んでいることや感じていることをアンケートに入れられると良い。

委員：小学生、中学生向けのアンケートの問14「あなたは、お酒をたくさん飲むことは体に悪いと思いますか」という質問があるが、たくさんという表現が分かりにくい。質問の前に、「あなたはお酒を飲むことは良いと思いますか」と聞いてから質問した方が分かりやすい。

会長：本日協議した内容を踏まえて、アンケートを作成し、中間評価を実施していただきたい。

6. 協議事項

■全体を通しての総評

副会長：初めて参加させていただき、今回中間評価ということだが、前回と同じ項目で調査を行うことが当然であり、次に発展できれば良い。色々な分野から本日の協議会にお集まりいただき、ますます何かの取り組みにつながることを期待している。

■事務局から、連絡事項等

本日いただいた様々な意見を踏まえて、アンケートの内容を検討し、中間評価を実施していきたい。次回の協議会は令和3年2月を予定している。

7. 閉会